

ふれあいじんけんフォーラム開催

令和3年12月9日 高根沢町 町民ホール

認定NPO法人国際子ども権利センター（シーライツ）代表理事、甲斐田万智子氏を迎え「子どもに権利って本当に必要なの？」～子どもが一人で悩まず生き生きと活躍できる社会をつくる～という演題で講話をいただきました。講師はリモートでの参加となりましたが、141名の参加がありました。参加者の多くは学校関係者でしたが、先生の話、今まで子どもに対してどのように向き合ってきたかという思いをもちながら聞いていたようです。

参加者の感想

- ・子どもに権利があるということ、大人が認識することから始めなければならないと思いました。
- ・子どもの権利について知っているようで実は知らなかったということがよくわかりました。
- ・子どもの権利を改めて考える良い機会になりました。小学校段階の児童を預かる立場にいるので、児童へ権利を伝えていきたいと思います。
- ・「子どもと対等」に向き合うということが印象に残りました。どうしても「～しなさい」「～したら」と親の意見を押しつけてしまっていたなど、日々の生活をふりかえることができました。
- ・子どもも一人の人間として考える意識を社会全体がもっていかねければと思いました。



令和3年11月11日 喜連川公民館

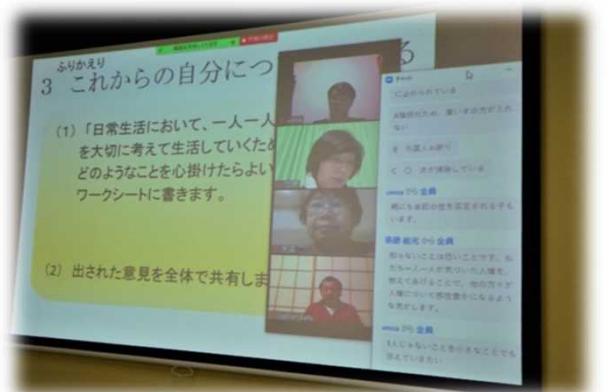
人権出前講座

令和3年11月19日 高根沢町改善センター

「もし、避難所生活になったら【災害に伴う人権問題】」を取り上げ、参加体験型学習の学習方法で実施しました。様々な立場で被災者の気持ちを考え、個人で解決できること、物的環境やハード面で解決できることについて意見交換をしました。

ふりかえりの活動では、思いやりの心をもって、自分ができる範囲の配慮をしていきたいと感想を述べていました。

「人権が尊重された社会を目指して」という内容で会場参加とオンライン（ZOOM）参加が混じったハイブリッド形式で実施しました。資料の中から人権的課題と思われる事項をたくさん見つけ、会場参加者オンライン参加者とも意欲的に発表しました。普段、あまり意識しない人権課題について確認することができました。



Dream come true

～とちぎ未来大使「夢」講座～

「夢」講座は、多方面で活躍されている栃木県とゆかりのある方を『とちぎ未来大使』として招き、中学生が自分の夢や将来について考える機会とすることを目的としています。

9月16日矢板中学校に、Jリーグ副理事長の原博実さんを講師に迎え、「後輩たちに伝えたいこと」というテーマで講演会を開催しました。リモートによる講演形式でしたが、原さんは「変化が激しい時代だからこそ、今、目の前のことを一生懸命頑張してほしい」というメッセージを熱く語っていました。生徒たちは、わからないこと、苦手なことにも怖がらず挑戦していきたいと感想を述べていました。

11月2日喜連川中学校に、ロック歌手のダイヤモンド☆ユカイさんを講師に迎え、「夢を見よう☆人生はユカイだ!」というテーマで講演会を開催しました。突きつけられた現実の厳しさを実感しながらも、本気で夢を考え、実現させた講師の言葉に、生徒たちは勇気づけられた様子でした。



おこづかいゲーム(塩谷町)



チリメンモンスター探し(さくら市)



まが玉をつくろう(さくら市)



チリメンモンスター探し(那須烏山市)

とちぎ子どもの未来創造大学 「本物」体験出前講座

とちぎ子どもの未来創造大学では・・・

子どもたちの学力向上の基礎づくりのために、学校における学習に加えて、学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む態度をはぐくむことをねらいとして、県内の高等教育機関、民間企業等と連携しながら栃木県内の小学校4年生から中学校3年生までの子どもたちに「本物」に触れる学習機会を提供します。